

シリーズ 市町村合併 ⑨

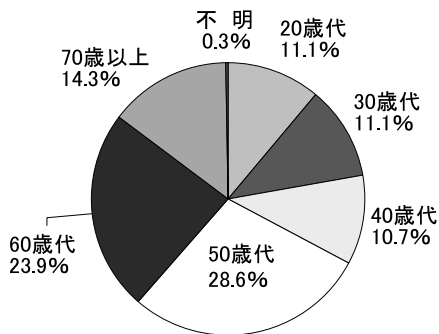
平成14年3月に合併問題について、住民の皆様が感じてもらえること及び合併問題を考えるうえで、どのような情報が必要であると考えるかを聞き取るため、合併問題に関するアンケート調査を実施しました。

この度、各設問の結果がまとまりましたのでお知らせします。

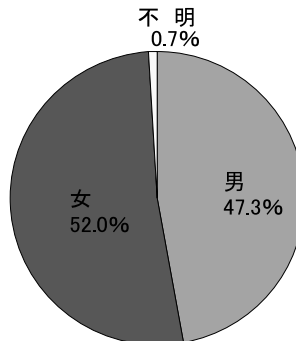
【調査概要】

- (1) 実施期間 平成14年3月12日～25日
- (2) 調査対象 2,500人
(20歳以上の住民を無作為抽出)
- (3) 調査方法 郵送調査
- (4) 回収状況 回収数1,203人(回収率48.1%)

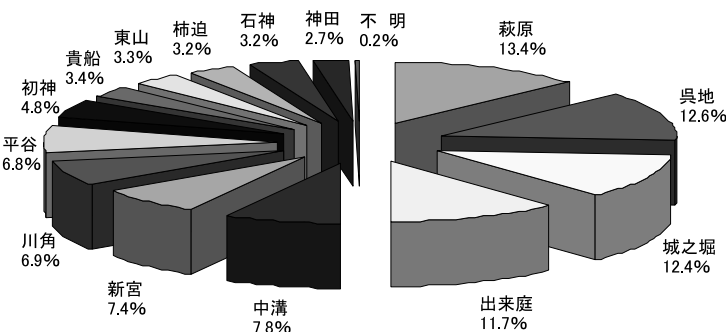
回答者の属性(年齢)



回答者の属性(性別)



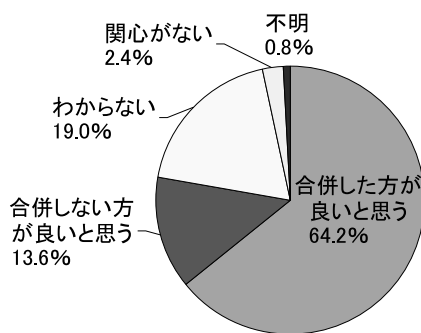
回答者の属性(居住地区)



今回のアンケート調査では、回収率が48.1%と低く、現時点では住民の皆様の合併問題に対する関心度はまだ低いという結果となりました。これは合併問題についての情報が十分ではないことも要因の一つであると考えています。

今後、町としては、今回の調査の目的としていました住民の皆様が合併問題について考えるうえで必要と思われる情報をできるだけ提供していきます。

合併について

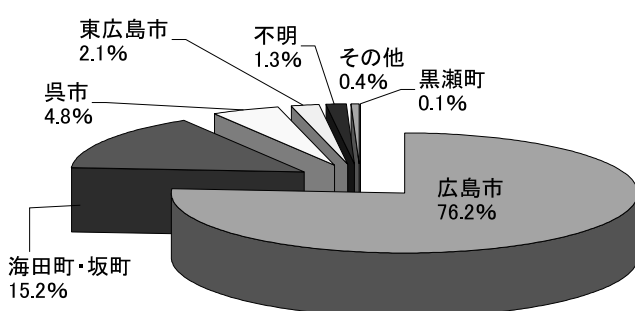


合併については、「合併した方が良い」と思われている方が64.2%、そのうち「どこも合併することが望ましい」と思われているかについては、広島市が76.2%と圧倒的に多い結果となりました。

これは本町の通勤・通学及び医療・買物等の生活圏が広島市であるということを示しているものと考えられます。

「合併した方が良い」という理由としては「道路などの基盤が整備されると思う」が

合併の相手



31.1%と最も多く、次いで「公共料金が安くなると思う」が21.5%となっています。

これは、現在の道路事情及び公共料金に対する不満の表れであると考えられます。

一方、「合併しない方が良い」と思う理由としては「地域の独自性がなくなると思う」が30.4%と最も多く、次いで「合併しても生活が変わると思わない」が25.4%、「行政の窓口が遠くなると思う」が18.7%となっています。

これは、合併して大きな自